

# Your Library

No.3 2009. 7. 17

今号の発行は9月です。休みの日は、  
図書館に閉鎖しています。

成田国際高校 図書館

梅雨が明け、夏本番の季節になりました。

長い夏休みは、おもいっきり読書のできるチャンスです！

また暑い夏、実は図書館は快適に過ごせる絶好の穴場ですから、学校はもちろん家の近くの図書館にも足を運んでみてください。

以下、新着図書をいくつか紹介しましょう。

## 夏から 夏へ

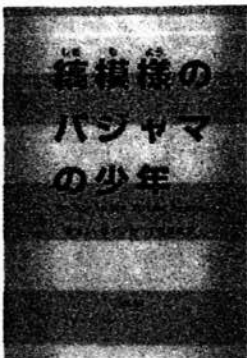
佐藤多佳子

← 日本代表リレーチーム、メダルへの熱き挑戦！

『一瞬の風になれ』で本屋大賞を受賞した著者が、昨年の世界陸上から北京オリンピックまでを日本代表チーム取材、世界に挑む日本のトップアスリートたちの熱き闘いを描いたノンフィクション。

⇒ 大都会ベルリンから引っ越してきた見知らぬ土地で、軍人の息子ブルーノは、遊び相手もなく退屈な毎日を送っていた。

ある日、ブルーノは探検にでかけ、巨大なフェンス越しに、縞模様のパジャマを着た少年と出会う。ふたりの間には奇妙な友情が芽生えるが、やがて別れの日がやってきて…。



## カレンダーから 世界を見る

中教弘光



☆ この地球にはたくさんの時間があふれています。眼に見えない時間の流れを、古今東西のカレンダーをとおして楽しんでみませんか。

今年は2009年ですが、日本では平成21年や皇紀2669年と書いてあるときもありますし、北朝鮮や台湾には今年が98年とする暦があります。キリスト教徒の多い国ではもっぱら2009年ですが、エチオピアでは昨年9月にミレニアム(2000年紀)を迎えましたし、イスラーム教徒の多い国では1430年と数える暦もあります。時間はひと

つではありません。今は、いったい何年なのでしょう？

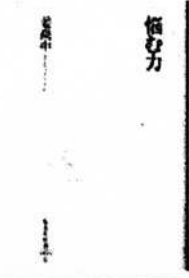
そもそもの始まりがちがうのです。キリスト誕生を紀元とする西暦のほかに、神話上の人物にまつわる事柄や革命家の誕生や死、そして歴史的事件などをもとに数えはじめたりします。なかには干支のように始まりのないとらえ方もあります。

この地球にはたくさんの時間が溢れています。眼に見えない時間の流れを、カレンダーをとおして楽しんでみませんか。カレンダーには古今東西の人の営みや時間に対する考え方、そして人びとの交流などが反映されているのです。

時間に縛られることの多い私たちにとって、ひとつに縛られない時間の流れは魅力的に感じられるのではないのでしょうか。

### <その他の新着図書>

それ以外にも、話題になっているたくさんの方が図書館に入ってきています。



この図書新聞の終わりをどうしようかと考えている時に、賞が決まったというニュースが流れてきました…。最近なんとなく軽い賞になったなという感がありますが…。

芥川賞 北村薫著『終の住処』(7月15日)



← 芥川賞をとった  
磯崎憲一郎氏

受賞作『終の住処』は、  
新潮6月号に、掲載  
されている。

↓ 北村薫著  
直木賞受賞作

